

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和5年1～3月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	60事業所
3. 回答率	48.0%
4. 業種別内訳	
製造業	11事業所
建設業	4事業所
卸売業	5事業所
小売業	27事業所
サービス業	13事業所
合計	60事業所

5. 実施時期

令和5年 4月上旬～5月下旬

6. 調査対象期間

令和5年 1月から3月（第4四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

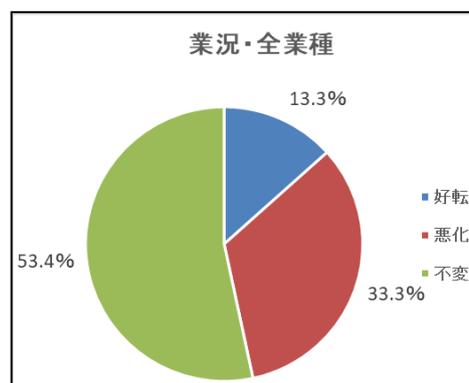
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和4年1月～3月）のD I値は▲20.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は13.3%、
悪化したと回答した事業所が33.3%、
変わらないと回答した事業所は53.4%だった。



令和5年1～3月の前年同期比について、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に経済活動が戻りつつあることから好転を見込む意見はあるものの、原材料高騰等による仕入価格の上昇による「採算性の悪化」、製造業を中心に半導体不足による「売上の減少」といった回答が多数あった。

また仕入価格の上昇に関する回答の中でも、「価格転嫁の検討・実施」について記述した事業所が多かった。

	R4. 1～3 前年同期比	R4. 10～12 前期比	R5. 4～6 見通し
全業種	▲20.0	▲20.0	6.7
製造業	▲27.3	9.1	9.1
建設業	0.0	0.0	▲25.0
卸売業	▲80.0	▲60.0	▲20.0
小売業	▲14.8	▲22.2	0.0
サービス業	▲7.7	▲30.8	38.5

来期見通し（令和5年4～6月）のD I値については、6.7ポイント。

建設業、卸売業を除く業種については好転の見込み。

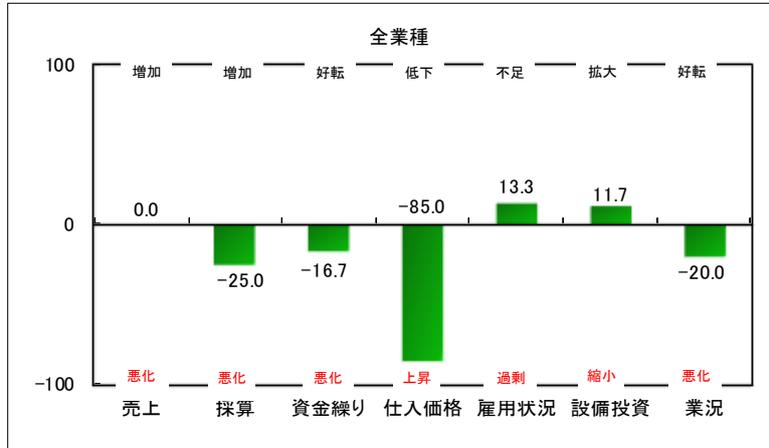
今年度5月より新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことによるアフターコロナへ転換および人流の増加を見込み、経済活動の活性化に期待する意見が多かった。

しかし、一方で原材料高騰等による「仕入価格の上昇」や「採算性の悪化」、「人手不足」や「人件費の高騰」による経営状況の悪化を懸念する意見もあった。

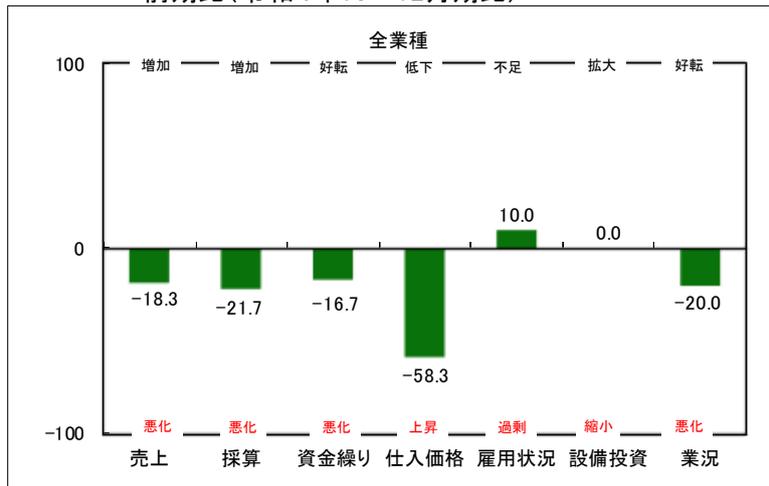
市内景気動向

全業種

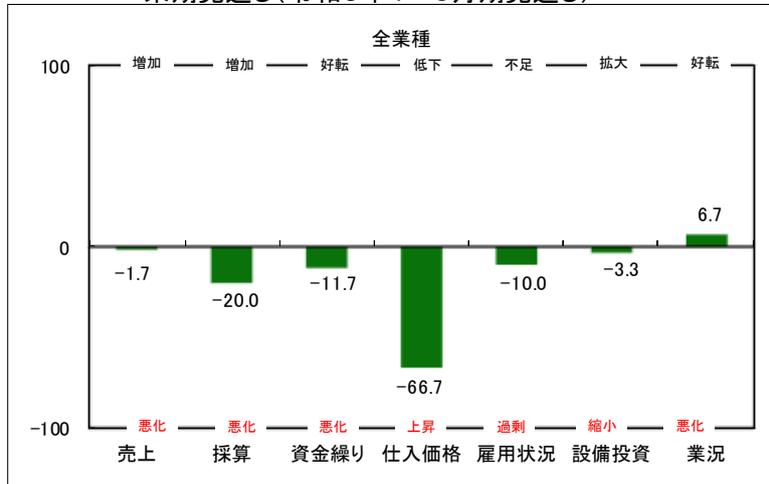
前年同期比(令和4年1~3月期比)



前期比(令和4年10~12月期比)



来期見通し(令和5年4~6月期見通し)

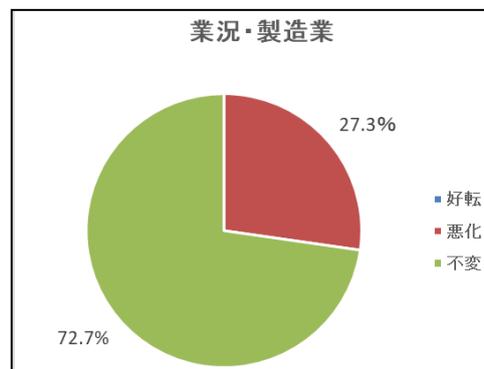


2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲27.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、0.0%、
悪化したと回答した事業所が27.3%、
変わらないと回答した事業所が72.7%だった。

来期見通しD I 値についても9.1ポイントで、
好転の見通しとなっている。



○主な意見

【屋外広告業】

- ・「毎月のように仕入価格は高騰。また働き方改革等により、製造業にとっては厳しい経営を迫られている状況になっている。」

【半導体製造装置用部品加工業】

- ・「半導体部門は極端に売上が下がったため、受注量が大幅に減少した。」

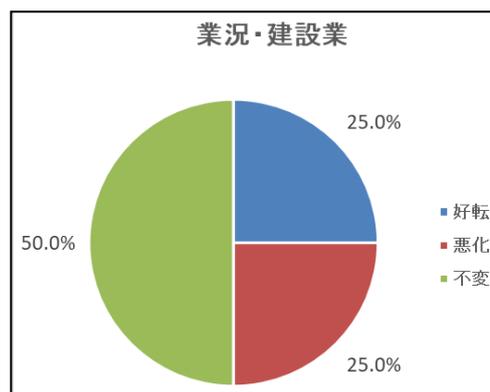
【看板製造業】

- ・「新規のお客様も少しずつ増えてきている状況だが、原材料高騰により全体的には不変。」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は25.0%、
悪化したと回答した事業所は25.0%、
変わらないと回答した事業所は50.0%だった。

来期見通しのD I 値は、▲25.0ポイントで、悪化
の見通しとなっている。



○主な意見

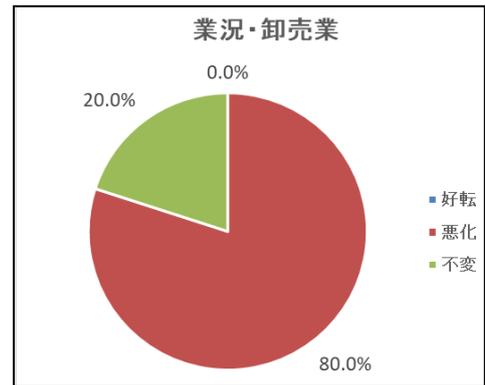
【土木工事業】

- ・「受注および未成工事が多かったため、売上は増加した。」

③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲80.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所が80.0%、
変わらないと回答した事業所20.0%だった。

来期の見通しD I 値は、▲20.0ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【木材販売業】

・「資材値上げによる建築工事減少の為、受注が減少した。」

【建築設備資材卸業】

・「戸建て住宅の新築件数の減少等もあり、厳しい状況である。」

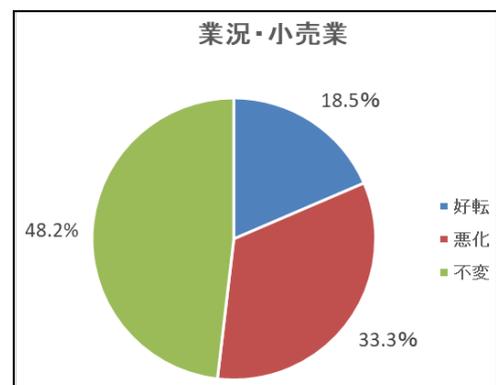
【事務用品・機器販売業】

・「取り扱い商品がほとんど値上げしており、採算性は悪化した。」

④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲14.8ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は18.5%、
悪化したと回答した事業所は33.3%、
変わらないと回答した事業所は48.2%だった。

来期の見通しD I 値は、0.0ポイントで、
不変の見通しとなっている。



○主な意見

【菓子製造及び販売業】

・「設備を一部導入し効率化を図ったが、原材料費が上昇している。販売商品の一部を価格に転嫁したものの影響は大きい。」

【飲食業】

・「客の実働数は、コロナ終了と共に増加しましたが、仕入価格の上昇に追いついておらず、価格転嫁も決断しにくい状況です。」

【自動車販売業】

・「不景気が続くと感じており、同業者も廃業する方も増えてきた。」

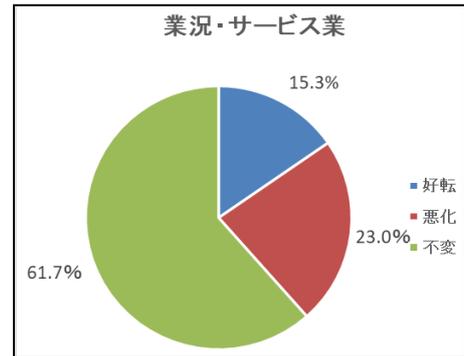
【絵画販売業】

・「仕入価格をはじめ経費が経営を圧迫する懸念がある一方で、コロナからの回復で人出の増加を期待する。」

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲7.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は15.3%、
悪化したと回答した事業所は23.0%、
変わらないと回答した事業所は61.7%だった。

来期見通しD I 値は、38.5ポイントで、好転の見通しとなっている。



○主な意見

【自動車整備業】

・「半導体不足などで新車の生産が伸びないため、整備は昨年につき、増加傾向にある。一方で求人を出しても、応募がなく人手不足に悩んでいる。」

【エステサロン業】

・「のべおか COIN の還元が大きいと売上也伸びるが、還元がなくなるとお客様の動きも減退している。」

【美容業】

・「昨年秋頃よりイベントの数が増えてきた為、売上は増加している。」

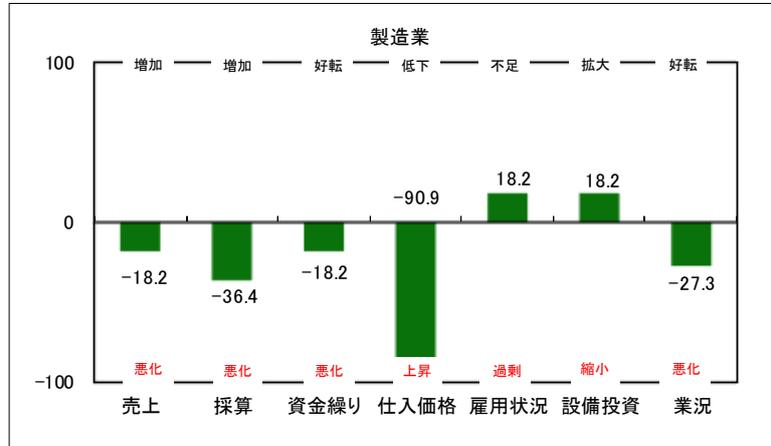
【専門サービス業】

・「アフターコロナを意識した経営方針を打ち出した事でこれからの巻き返しを出来る状況であり、全社一丸体制で構築して生き残りをかけて行きたいと思っている。」

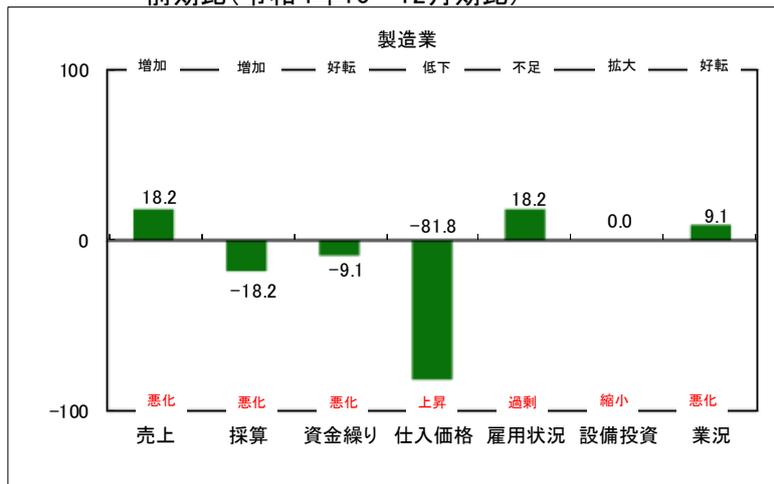
業種別景気動向

製造業

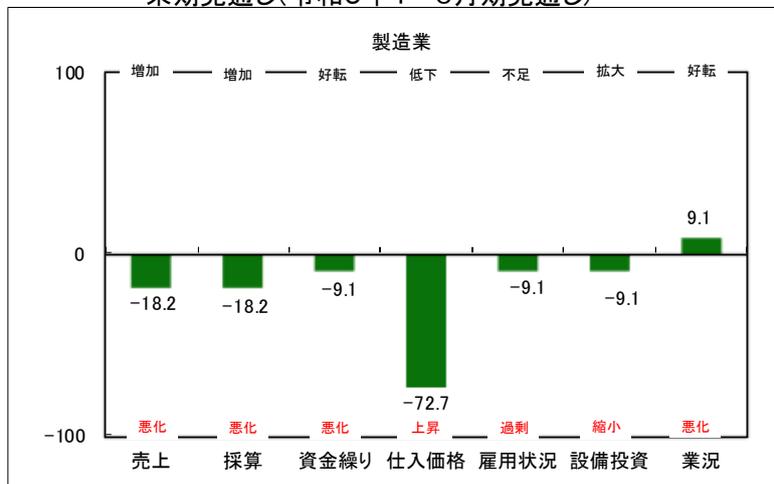
前年同期比(令和4年1～3月期比)



前期比(令和4年10～12月期比)



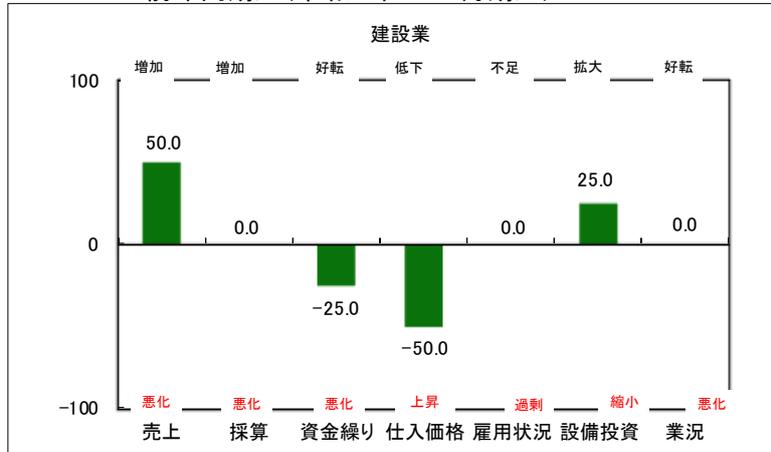
来期見通し(令和5年4～6月期見通し)



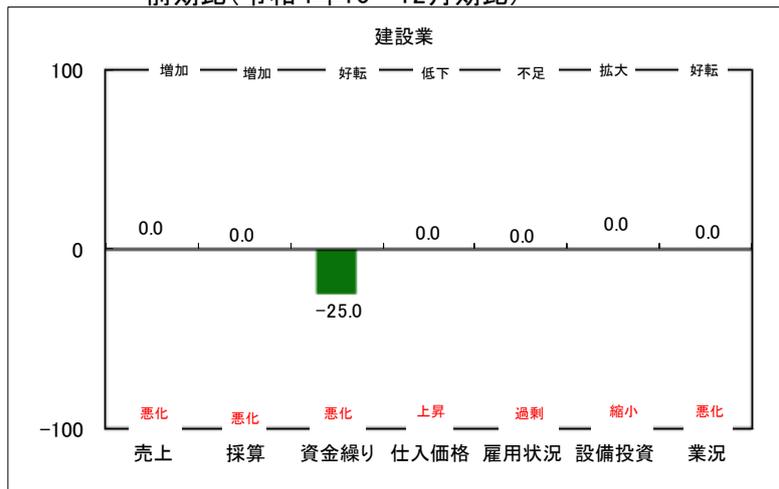
業種別景気動向

建設業

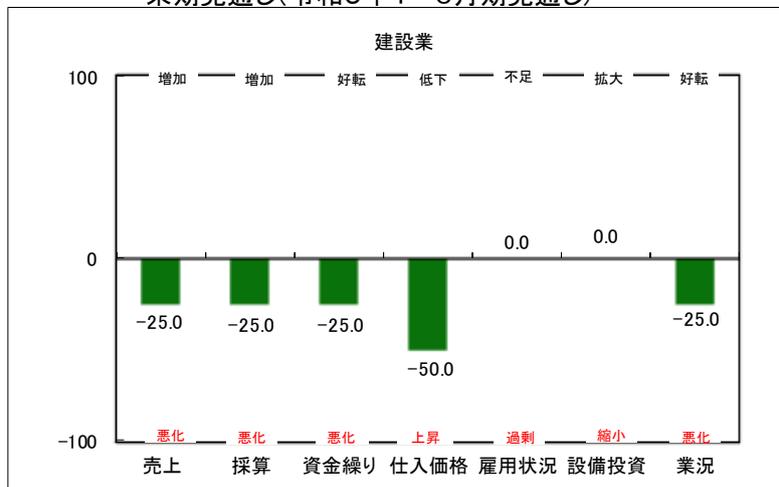
前年同期比(令和4年1~3月期比)



前期比(令和4年10~12月期比)



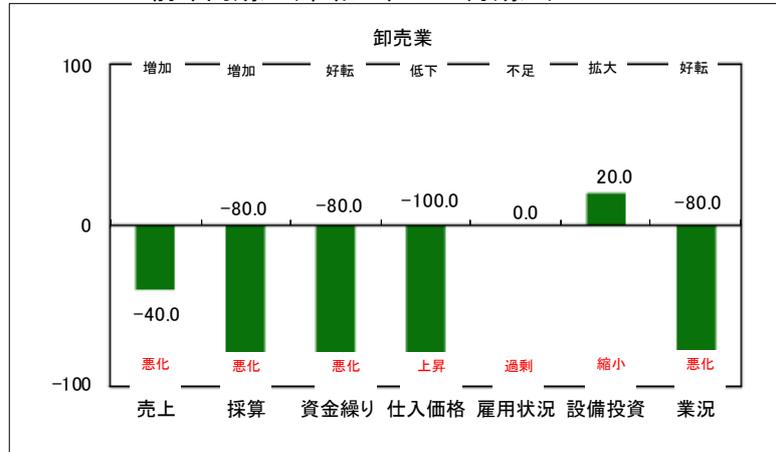
来期見通し(令和5年4~6月期見通し)



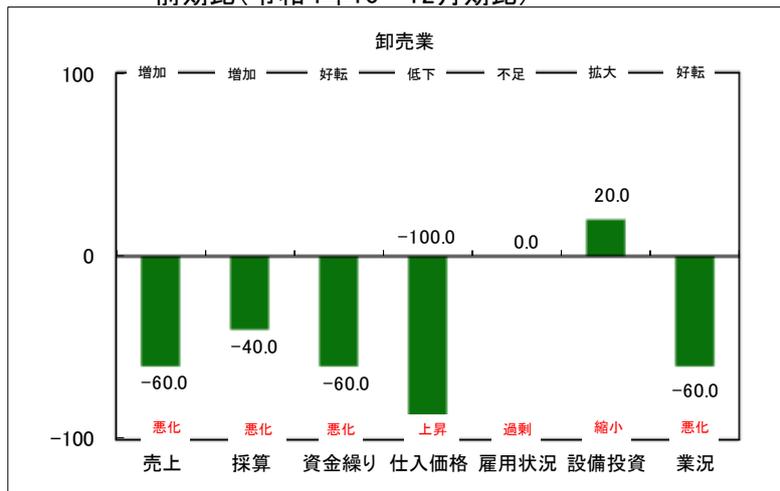
業種別景気動向

卸売業

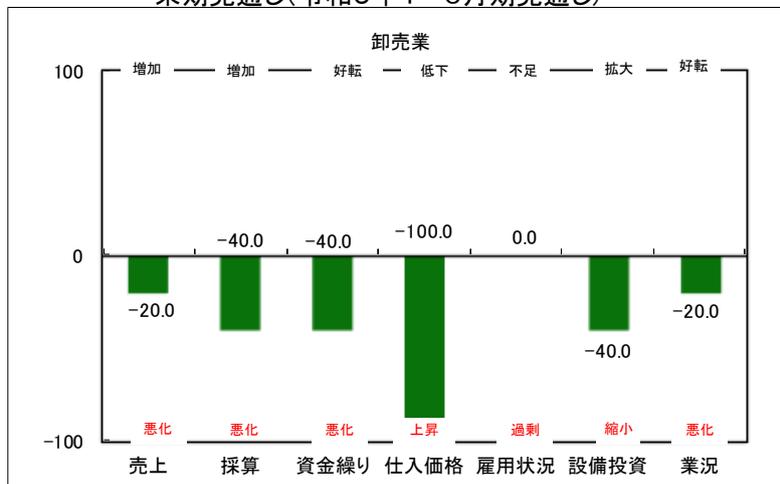
前年同期比(令和4年1~3月期比)



前期比(令和4年10~12月期比)



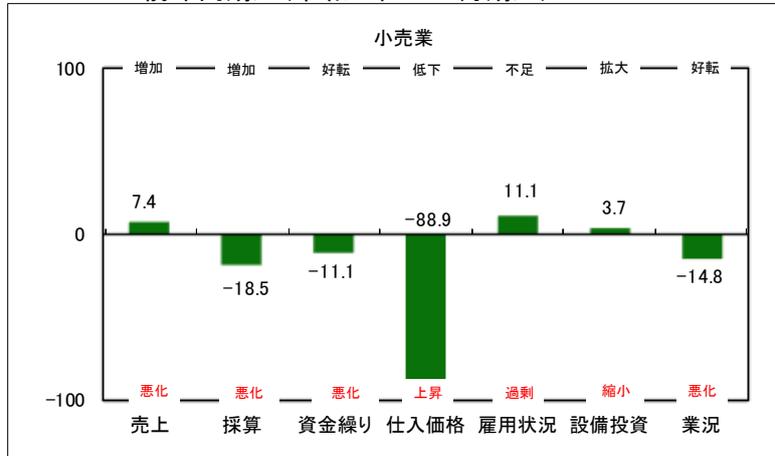
来期見通し(令和5年4~6月期見通し)



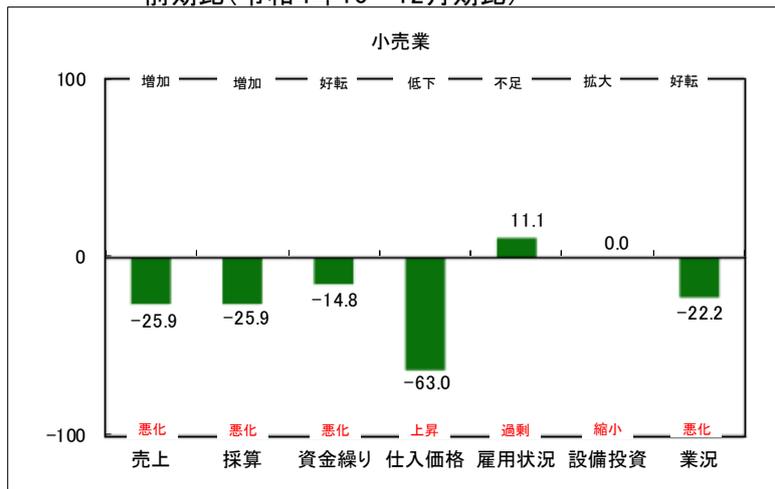
業種別景気動向

小売業

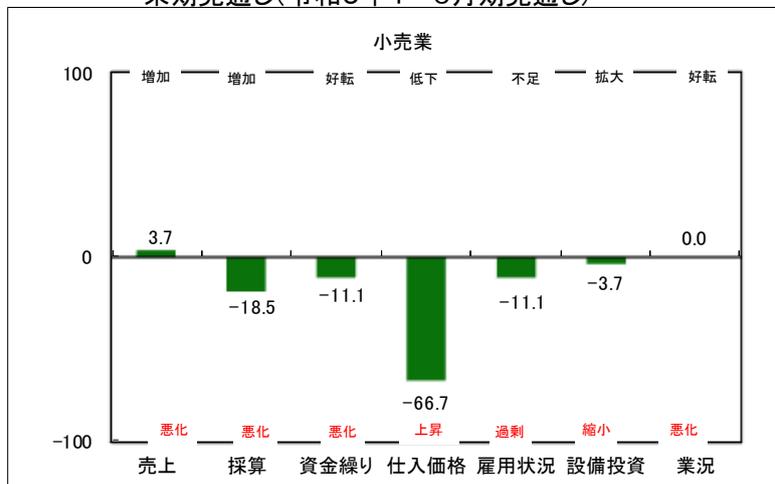
前年同期比(令和4年1~3月期比)



前期比(令和4年10~12月期比)



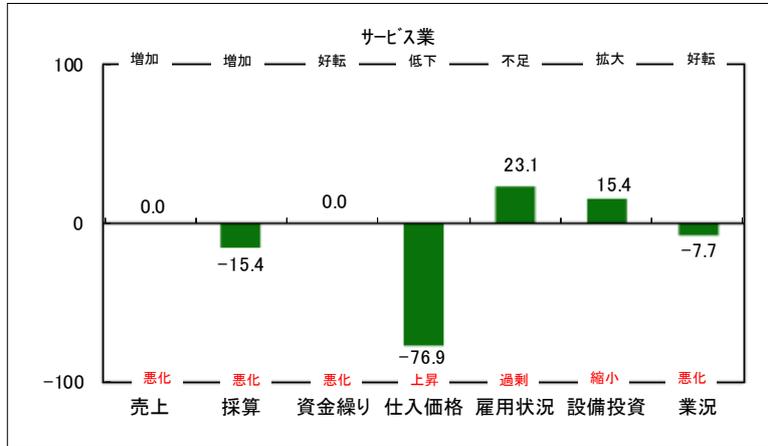
来期見通し(令和5年4~6月期見通し)



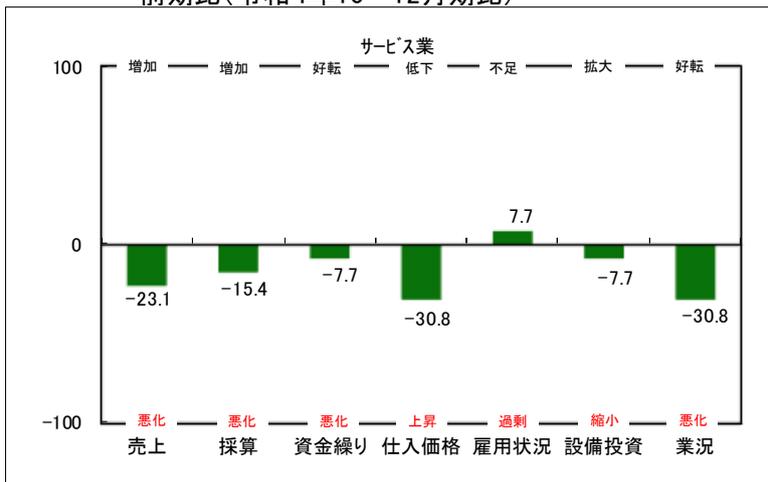
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和4年1~3月期比)



前期比(令和4年10~12月期比)



来期見通し(令和5年4~6月期見通し)

